

機械器具 16 体温計

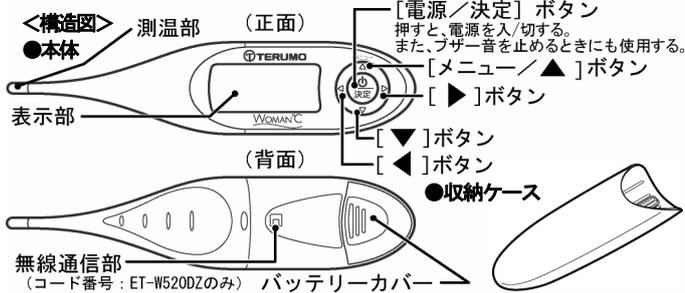
管理 電子体温計 (JMDNコード: 14032010)

テルモ電子体温計W520

【警告】

・電池やバッテリーカバーは子供の手の届かない所に置くこと。

【形状・構造及び原理等】



外観寸法：長さ130.4mm×幅29mm×厚さ19.5mm

質量：約27g（電池含む）

付属品：収納ケース、リチウムボタン電池(CR2032) 1個

【原理】

本品は、サーミスタの抵抗変化を利用して温度を検出し、検温開始から約2分30秒までは予測値（予測マーク「■」点灯）、それ以降は実測値の最高値をデジタルで表示する婦人用電子体温計である。平均約20秒（おおよそ16～25秒）で予測が成立したことを知らせるブザーが鳴り、検温をそのまま継続すると約5分で実測検温終了のブザーが鳴る。検温値は記録され、過去3～6周期分の月経周期、高/低温期間のデータを平均し、次回排卵日及び次回生理日を計算する。

【機器の分類】 内部電源機器 BF形装着部

【電気的定格】

電源：リチウムボタン電池（CR2032）1個（交換可）

電圧：DC3.0V 消費電力：約4.0mW

本品は、EMC規格IEC 60601-1-2:2004に適合している。 EMC適合

【使用目的、効能又は効果】

＜使用目的＞

测温部を部位に接触させて、口腔（舌下）の体温を測定し、最高温度を保持しデジタル表示すること。

【品目仕様等】

【特性・性能又は機能に関する規格】

・最高温度保持機能：実測表示に切替後は、実測した最高の温度値を保持し、検温を終了しても電源がOFFされる又はオートパワーオフするまで表示を維持する。

・デジタル表示：4桁
 ・最大許容誤差：
 35.00℃以上～38.00℃以下：±0.05℃以内
 （温度指示精度） 32.00℃以上～34.99℃以下及び
 38.01℃以上～42.00℃以下：±0.10℃以内
 （標準温度計に対して）

・電源電圧：JIS T 1140:2005 に適合
 ・防 浸：JIS T 1140:2005 に適合
 ・测温範囲：32.00～42.00℃ ・最小表示単位：0.01℃
 ・测温範囲外告知：測定温度が42.00℃を超えると表示部に「0」を表示する。

【その他の仕様】

種 類：婦人用 测温部一体形 一部防浸形

测温方式：予測式（予測検温・実測検温兼用）

测温部位：口腔（舌下）

使用条件：周囲温度 10～40℃ 相対湿度 30～85%RH
 （ただし、結露なきこと）

【操作方法又は使用方法等】

【使用開始前の準備】

1. 付属品の電池を入れ、[電源/決定] ボタンを押して電源を入れる。
2. 現在の年月日及び時刻と、毎日の測定時刻を設定する。
3. [電源/決定] ボタンを押して（2秒以上）電源を切る（電源を切り忘れても約3分後に自動的に電源が切れる）。

【測定方法】

1. 測定時刻に鳴るブザーを[電源/決定] ボタンを押して止める。
2. 舌下中央のすじの横に体温計の先端（测温部）をあてる。
3. 舌を下げ、口を軽く閉じる。
4. 最初のブザーが鳴ったら测温部を口から取り出す。（予測検温）
2度目のブザーが鳴ったら测温部を口から取り出す。（実測検温）
より厳密な体温を測定するには、実測検温を行う。
5. メモすべき事項（生理、発熱）があった場合、メモを入力する。
6. [電源/決定] ボタンを押して（2秒以上）電源を切る。
7. 本体表面を柔らかい布等で拭き取り、収納ケースに収納する。

＜使用方法に関連する使用上の注意＞

- ・毎朝の基礎体温の測定は、寝ている状態のまま体を動かさず、なるべく同じ時間帯に測定すること。
- ・引火性のある環境では使用しないこと。
- ・添付文書及び取扱説明書を確認の上、使用すること。
- ・使用前に、外観に破損等がないことを確認すること。
- ・以下の項目は予測/実測精度に影響するため、注意すること。
 - ・検温中は本体を指で支え、会話や口での呼吸等で口を開けたり、体を動かしたりしないこと。
 - ・くり返し検温するときは、少し時間をおくなど体温計の先端（测温部）を冷ましてから検温すること。
- ・測定値を自動記録するため、必ず現在の日付・時刻と測定する時刻（ブザー）を設定すること。（電池交換後は、再度設定すること。）
- ・人の体温測定以外に使用しないこと。
- ・測定結果の自己診断、治療は行わないこと。
- ・強い静電気や電磁波、磁石等に近づけたり、近くで携帯電話を使用しないこと。
- ・本品は、振動、衝撃の発生する場所で使用しないこと。
- ・分解、修理、改造は行わないこと。
- ・次回排卵日、次回生理日の計算機能はオギノ式に基づくが、あくまで参考として使用すること。
- ・強くかまない、曲げない、引っ張らないこと。
- ・病気の治療等で薬物を使用している場合は、正確な計算日を計算できないことがある。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

＜貯蔵・保管方法＞

- ・暖房器具のそば、車の中、日光のあたるところ、ほこりの多いところ、湿気の多いところを避けて保管すること。
- 保管条件：周囲温度 -10～50℃ 相対湿度 30～95%RH
 （ただし、結露なきこと）

【保管上の注意】

- ・保管する際は、乾いた布等で水気を拭き取ること。

【電池寿命について】

- ・1日1回、周囲温度25℃、5分間の使用で、約1年使用することができる。
- ・使用済みの電池や体温計を廃棄する際は、各自自治体のルールに従って適切に廃棄すること。

＜有効期間・使用の期限＞

- ・標準的な使用期間の目安：3年 [自己認証による]

【保守・点検に係る事項】

【保守・点検上の注意】

- ・本品の汚れがひどい場合は、水洗いはせず、布等を水又はぬるま湯に浸し、よくしぼってから拭き取ること。
- ・消毒液等に水没させないこと。先端（测温部）を消毒する際は、布等に消毒用エタノール（76.9～81.4V/V%）を浸し、拭き取ること。
- ・熱湯消毒（50℃以上）しないこと。

【包装】 ・1本/箱

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売業者：テルモ株式会社
 住 所：東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目44番1号
 電 話 番 号：0120-008-178 テルモ・コールセンター
 外国製造所の名称：セブ ミツミ (CEBU MITSUMI, INC.)
 国 名：フィリピン共和国

取扱説明書を必ずご参照ください。

TERUMO®